

市交際費の支出状況

平成31年2月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔慰	今月分	4	25,000
	累計	52	210,850
見舞い	今月分	0	0
	累計	0	0
御祝	今月分	2	7,200
	累計	39	252,000
賛助	今月分	0	0
	累計	4	20,952
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接遇	今月分	3	9,520
	累計	19	115,139
会費	今月分	4	10,400
	累計	45	174,900
その他	今月分	0	0
	累計	2	7,200
合計	今月分	13	52,120
	累計	161	781,041

◎くわしくは市のホームページに掲載しています

問い合わせ 総務課 秘書係
☎75-2115

連載

「自分のことが好きになる」

「ぞうさん ぞうさん
おはながながいのね そうよ
かあさんも ながいのよ」

みなさんもご存じの童謡「ぞうさん」です。この歌の作詞家まどみちおさんが生前「ぞうさん」の歌に関して述べられたことがあります。

「ぞうの子は、鼻が長いねと悪口を言われた時に、しよげたり腹を立てたりする代わりに、一番好きな母さんも長いのと、誇りを持って答えた。それは、ぞうがぞうとして生かされていることが、すばらしいと思っているからです。だからこの歌は、ぞうに生まれてうれしいぞうの歌と言えます。目の色が違うから、肌の色が違うから、

tomoni ikiru

すばらしい。違うから、仲良くしようということですよ。」

誰にも長所や短所がありません。しかし、それはひとつの個性であり、誰もが持っているものです。人と違うからとか決めつけないで、自分を信じることで、誇りを持ち自分を大切にしようという気持ちが生まれてきます。

このように自分が好きという自尊心を育てていくことが、他人のことも好きになるという気持ちにつながるのではないのでしょうか。

自分自身の価値観に気づきながら、お互いの立場を認め合い、自分らしさを確立していくことが人権を大切にするることにつながると思います。

社会教育指導員 木村 博重

Message for citizen



市長』コラム



今年五月一日に元号が新しくなります。天皇皇后両陛下のご退位を受け、皇太子殿下妃殿下が新たに天皇皇后に即位され、公式行事が行われます。

天皇陛下は昭和五十八(1983)年の「五十歳誕生日会見」で『論語』に言及されました。

「好きな言葉に『忠恕』があります。論語の一節に『夫子の道は忠恕のみ』とあります。自己の良心に忠実で、人の心を自分のことのように思いやる精神です。この精神は一人一人にとって非常に大切であり、さらに日本国にとっても忠恕の生き方が大切ではないかと感じています」と述べられたのです。

皇太子殿下も平成二十二(2010)年の誕生日の会見で、『天命を知る』という孔子の言葉は、自分がこの世に生まれた使命を知るとい意味ですが、単に知るだけではなく、この世のために生かす、つまり、人のた

天皇陛下のお好きな『論語』の言葉

市長 横尾 俊彦

めに尽くすという意味を含んでいるように思います。孔子の言葉といいますと、確か天皇陛下が五十歳になられた時の会見で、『夫子の道は忠恕のみ』との孔子の言葉で質問に答えていらっしやいます。『忠恕』とは、自身自身の誠実さとそこから来る他人への思いやりのことであり、この精神は一人一人はもとより、日本国にとっても『忠恕』の生き方が非常に大切なのではないかとおっしゃっております。

『忠恕』と『天命を知る』という教えに基づいて、他人への思いやりの心を持ちながら、世の中のため、あるいは人のために私としてできることをやっていきたいと改めて思っております」とお話されています。

「忠恕」は「己の欲せざる所は人に施すことなかれ」の教えです。新しい御世でも引き継がれる「忠恕」の精神を大切に、日々努めていきたいものです。